

江戸川区 中小企業の景況

2023年1月～3月期

調査対象 製造業 150社 小売業 65社
サービス業 51社 建設業 45社
合計 311社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株)サーベイリサーチセンター

本概要版は、2023年3月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(2023年4～6月期)をまとめたものです。
なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。

※ D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
	好調 ←			普通	→ 不調		
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

製造業	前期		-21.8	業況DI(Δ21.8→Δ17.3)は前期比4.5ポイント増加し、水面下が続くもののわずかに改善しました。売上額(Δ21.7→Δ8.6)と収益(Δ21.2→Δ14.1)は減少・減益傾向が大幅に改善しました。 来期の業況(Δ15.3)は引き続き改善傾向が続くものの、売上額(Δ8.8)と収益(Δ12.7)はともに今期同様の減少・減益傾向で推移すると予想しています。
	今期		-17.3	
	来期		-15.3	

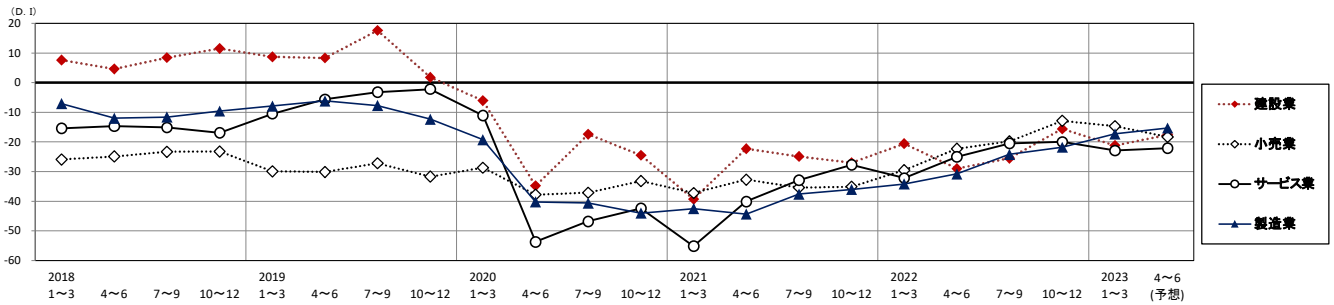
小売業	前期		-12.9	業況DI(Δ12.9→Δ14.7)は前期同様の悪化傾向が続きました。売上額(Δ10.1→Δ6.5)と収益(Δ20.6→Δ17.5)は減少・減益傾向が多少和らぎました。 来期の業況(Δ18.3)は悪化傾向が多少強まると予想しています。売上額(Δ2.0)はわずかに改善し、収益(Δ13.6)はやや持ち直すと予想しています。
	今期		-14.7	
	来期		-18.3	

サービス業	前期		-20.0	業況DI(Δ20.0→Δ22.9)は悪化傾向が幾分強まりました。売上額(Δ10.1→Δ12.3)は減少傾向が若干強まりましたが、収益(Δ22.4→Δ18.4)は多少持ち直しました。 来期の業況(Δ22.1)は今期並の水準で推移すると見ています。売上額(Δ12.1)と収益(Δ19.9)も今期同様の減少・減益幅で推移すると予想しています。
	今期		-22.9	
	来期		-22.1	

建設業	前期		-15.6	業況DI(Δ15.6→Δ21.2)は悪化傾向が多少強まりました。売上額(Δ19.5→Δ19.6)は前期並の減少傾向で推移しましたが、収益(Δ24.7→Δ32.0)は減益幅がかなり拡大しました。 来期の業況(Δ17.6)は若干持ち直すと見ています。売上額(Δ24.7)は減少傾向がかなり強まりますが、収益(Δ33.8)は今期並の減益幅で推移すると予想しています。
	今期		-21.2	
	来期		-17.6	

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移

〔過去5年間の業況D.Iの推移〕 ※(D.I=「増加回答値」-「減少回答値」)



〔過去5年間の業況D.Iの推移〕 ※(D.I=「増加回答値」-「減少回答値」)

	2018				2019				2020				2021				2022				2023	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6 (予想)
製造業	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-44.0	-42.5	-44.3	-37.6	-36.0	-34.2	-30.8	-24.2	-21.8	-17.3	-15.3
小売業	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-33.2	-37.2	-32.7	-35.4	-35.1	-29.5	-22.3	-19.8	-12.9	-14.7	-18.3
サービス業	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-42.4	-55.1	-40.1	-32.9	-27.7	-32.2	-25.0	-20.5	-20.0	-22.9	-22.1
建設業	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-24.5	-39.3	-22.3	-24.9	-27.0	-20.6	-29.0	-25.5	-15.6	-21.2	-17.6

経営者から寄せられた声 (2023年1~3月)

【景況全般について】

- 各メーカーの販促物をつくる業務。例年と違って忙しい思いをしている割に売り上げが上がらない。年度末の3月は忙しい時期のはずだが、今後どうなるのか不安にはなる。(製造業)
- 電気工事は2023年も順調に推移しているが何しろ物が無いし、人もいない。物件を受注しても、物が無いため、工事に着工できるのが10ヶ月から1年先。電気部品、材料を手配するのに前払い金が必要となり、資金繰りに苦慮している同業者が多い。(建設業)

【受注・売上・単価・仕事量について】

- 一日の気温差が激しく体調を壊す方が増えたため、来客数はこの時期増加した。新型コロナの影響はほとんど無くなっている。(サービス業)
- リフォーム業界は3~4月は昨年以上に忙しかった。少しずつ上向き傾向となっている。(建設業)

【経営上の課題について】

- 人材不足(技術者、営業)のため、行政の支援をお願いしたい。(製造業)
- 仕事量は多いが人手不足となっている。(建設業)

【経営改善等に向けての取組み】

- 電気光熱費の高騰に加えて商品材料の相次ぐ値上げが経営を直撃している。やむなく5月から料金の値上げ改定に踏み切るが、お客様の負担増を考えると断腸の思い。料金改定でこれまで以上の失客も否定できず、さらなる経営の悪化を招く可能性もあり、会社経営の責任を担う一人として、日夜、再建策をいろいろ検討している。(サービス業)
- 今は何もしていない。仕方のない事だと思っている。(小売業)
- 商標登録など自社ブランドの強化に努めている。(小売業)

江戸川区の企業倒産動向 (2023年1~3月)

江戸川区の企業倒産動向

2023年1~3月期の江戸川区の倒産件数は、前期比9.1%減の10件(前期11件)、負債総額は前期比144.5%増の26億26百万円(前期10億74百万円)でした。

業種別にみると、件数では「建設業」が3件で最も多く、「卸売業」と「サービス業」が各2件で続いた。負債総額も「建設業」が21億円で最も多く、次いで「製造業」が3億円、「卸売業」が1億63百万円で続きました。

	(単位: 件・百万円)					
	前年同期 2022年1~3月		前期 2022年10~12月		今期 2023年1~3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	90	2	351	1	300
卸売業	1	10	3	347	2	163
小売業	0	0	2	36	0	0
サービス業	0	0	0	0	2	20
建設業	2	215	1	254	3	2,100
不動産業	0	0	1	10	0	0
情報通信業・運輸業	2	41	1	30	1	20
宿泊業・飲食サービス業	0	0	1	46	1	23
その他	1	10	0	0	0	0
合計	7	366	11	1,074	10	2,626

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL: 03-5662-9014 (直通)